

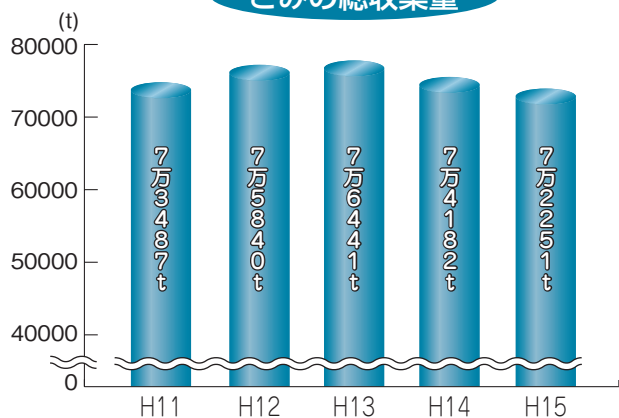
鳥取市のゴミは、今

鳥取市は、これまでの「大量生産・大量消費・大量廃棄の社会」から、環境に配慮し資源を大切に「循環型社会」の実現に向けて取り組んでいます。特にごみの減量化は、豊かな環境や限りある資源を有効に利用する循環型社会を進めるうえでとても大切なことです。

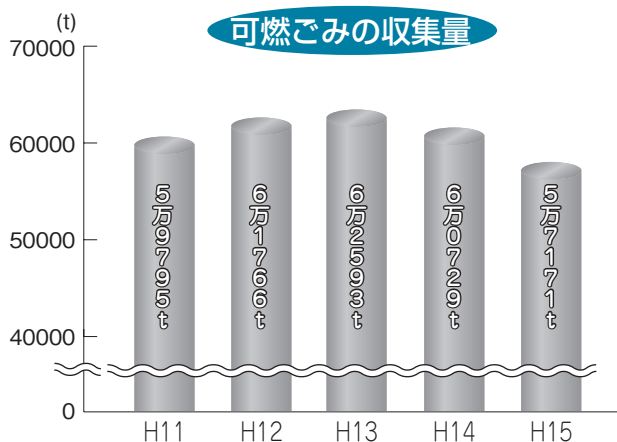
鳥取市では、ごみ分別の徹底を図り、さらにごみの減量化を進めるため、平成十四年度から可燃ごみ袋指定制度と、買い物する時に自分の買い物袋を持参するマイバッグ運動をスタートしました。また、平成十五年度には、祝日の可燃ごみ収集、新聞・雑誌・段ボールなど古紙のごみステーション回収なども実施しています。

このような取り組みを行っている中で、鳥取市のごみの現状はどうなっているのでしょうか。今回は、ごみの収集状況をはじめ、今年度の取り組みなどについて紹介します。

ごみの総収集量



可燃ごみの収集量



鳥取市の ごみの収集状況

鳥取市のごみの年間総収集量は上記の表のとおり、平成十三年度をピークに毎年減少しています。

特に清掃工場で焼却している可燃ごみの収集量は、平成十三年度の六万二五九三トンに対し、十五年度は五万七一一七トンで、実に

五四二二トン、率にすると八・七パーセントも減少しています。

また、十五年度の食品トレイ、缶、ビン、ペットボトルなど再利用できる資源ごみは、平成十三年度に比べ約一・五倍（一四六六トン）も増え、貴重な資源としてリサイクルされています。

